



## 高校入試に向けて

3年生の生徒と保護者の方を対象とした進路説明会を、10月5日（木）【第1回進路説明会（私立高校）】と10月24日（火）【第2回進路説明会（県立高校）】に実施する予定です。

第2回進路説明会（県立高校）では、7校の県立高校の特色を説明していただきます。第2回については説明会の様子を録画して、1週間程度ご覧いただけるようにします。視聴についての詳細は、後日 tetoru や進路だより「羅針盤 NO.7」にて連絡いたします。

11月2日（木）～8日（水）に実施する3年生の三者面談では、私立高校の受験校などを決定します。1、2年生の保護者の皆様にも2年後、1年後を見据えていただくために、高校入試制度の概略をお知らせいたします。

## ～高校入試制度の概略～

### 1 私立高校入試について（1月中旬～下旬に入試）

令和6年度私立高等学校入試日程一覧のデータは、  
[http://www.ibaraki-shigaku.jp/pdf/r06nyushi\\_nittei\\_h.pdf](http://www.ibaraki-shigaku.jp/pdf/r06nyushi_nittei_h.pdf) に掲載されています。

#### （1）受験区分

##### ①単願

- ・その高校への進学を第一希望にしている。
- ・合格した場合は、必ずその高校へ進学する。入学辞退はできない。
- ・併願に比べ、合格点が低く設定されている。
- ・その他、高校ごとに準単願（私立内第一希望）や条件付き単願（希望コースに合格した場合、単願に切り替える）などもある。

##### ②併願

- ・他に第一志望の高校があり、そこが不合格の場合の進学先として私立高校を受験する。

#### （2）入試方法

##### ①推薦入試

- ・令和6年1月9日（火）※入試日は同一日に統一されている。
- ・単願で、学業、人物が優れており、規律違反がなく、中学校長が推薦でき、各高校の推薦基準を満たしている生徒。

##### ②一般入試

- ・併願受験のみ実施する高校と、単願及び併願受験の両方で実施する高校（試験日は同じ）がある。
- ・併願は、単願に比べ、合格点が高い。
- ・推薦入試が不合格でも一般入試での再受験ができる。

### 2 茨城工業高等専門学校入試について

#### （1）求める入学志願者像

- ・成績が優秀で、理科や数学が好きな人。科学技術の分野に興味がある人。

#### （2）入試方法

##### ①推薦選抜

- ・合格した場合は、必ず進学する。入学辞退はできない。
- ・3年間の9教科の評定合計が、118以上の者。
- ・2学年進級時に、選択した主専攻を優先的に選択できる。
- ・合格者の選抜は、適性検査（数学、理科）と面接（口頭試問を含む）の総合点及び調査書で総合評価される。（総合評価の内訳は、適性検査50%、面接50%）

##### ②学力選抜（一般）

- ・合格者の選抜は、学力検査（国語、社会、数学、理科、英語の5教科）と調査書の総合評価で判断する。なお、数学と理科はそれぞれ傾斜配点（100点×1.5）、その他は各100点の配点となる。（総合評価の内訳は、適性検査80%、調査書20%）

3 県立高校入試について (県立高校に合格した場合の入学辞退はできない。)  
3年生は、夏の三者面談時に配られた資料を参考にしてください。

(1) 共通選抜 (A群選抜とB群選抜)

**共通選抜** ●学力検査と調査書等を用い、A群・B群の2段階で合格者を決定します。

学力検査(5教科)	調査書
<p>国語、社会、数学、理科、英語(聞き取りテスト含む)の5教科の得点を合計します。</p> <p>※定時制課程には、学力検査を国語、数学、英語(聞き取りテスト含む)の3教科で実施する学校があります。</p>	<p>各教科の学習の記録、特別活動の記録、部活動・特技の記録などを評価します。</p>

**A群選抜** 学力検査と調査書等を使ってA群(原則合格)を決定

学力検査の得点合計の順位が「募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数」の80パーセント以内、かつ、調査書の評定合計(3年間)の順位が「募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数」以内にある者をA群(原則合格)とし、残りをB群とします。

**例** 募集定員から特色選抜枠及び特例入学者選抜枠の合格者数を引いた数が100人の場合学力検査順位が80位以内で、かつ、調査書順位が100位以内の者が70人いたとします。この70人がA群(原則合格)となり、それ以外の受検者がB群となります。

**B群選抜**

残りの人員は、B群の中から、学力検査重視、調査書重視の2つの方法を使って合格者を決定します。  
学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率を、各高校が20:80から80:20の間で決定します。

**例** 募集定員100人からA群選抜で合格した70人を除いた残りの30人については、例えば、60:40とした高校の場合では、学力検査重視で18人、調査書重視で12人が合格となります。

(2) 特色選抜について (実施する高校としない高校がある)

令和6年度入試で特色選抜を実施する高校については、茨城県教育委員会 HP > 高校入試 > 令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜における特色選抜実施概要一覧(予定)をご覧ください。

**特色選抜** ●文化・芸術及び体育、奉仕活動及び生徒会活動のいずれかの分野において優れた資質・実績を有する者を対象とする選抜です。

●応募資格

具体的な出願要件は各高校が定めます。出願要件を満たしていれば、だれでも出願できます。

出願要件例

- ・野球(男)、卓球(女)、バレーボール、吹奏楽、生徒会、奉仕活動のうち、いずれかの活動において、中学校の部活動、又は地域のクラブチームに所属し、3年間積極的に取り組んだ者
- ・中学校時代に、科学に関連する探究活動に取り組んだ経験を有し、本校入学後も積極的に探究活動に挑戦する意志のある者

●選抜方法

選抜資料を総合して合格者を決定します。学力検査は500点(IT未来及びつくばサイエンスは700点(理科200点、数学200点))、それ以外の選抜資料の配点は各学校が定め、総合得点の合計は1,200点を超えないものとしています。

※特色選抜で合格しなかった受検者は、共通選抜のみに志願した受検者とあわせて再び可否を判定されます。

**例** 学力検査(500点)、調査書(300点)、面接(200点)、実技検査(200点)、合計1,200点

●選抜資料

「調査書の内容」、「学力検査の結果」、「面接又はプレゼンテーションの結果」の他、高校により実施する「作文」、「実技検査」などの選抜資料を用います。

☆詳しくは、各学校及び茨城県教育委員会HPに掲載している「特色選抜実施概要一覧(予定)」をご覧ください。

(3) 第2次募集について

令和6年度選抜から **第2次募集では、学力検査は実施しません。**

●調査書・面接・実技検査(実技検査を実施する学校のみ)・作文(学校裁量)等で判定します。

●配点は各高等学校が定めます。調査書及び面接の配点については、各200点以上、配点の合計については、400点以上700点以下とします。  
各校の配点等については、10月に県教育委員会ホームページに公表する予定です。

●一般入学学力検査の結果を参考(学校裁量)\*とします。

※点数化はせず、参考扱いとし、不利益な取扱いはしません。

●出願時における書類の取扱等は、実施細則(9月下旬公表)で定めます。